

学 生 便 覧

－ 履 修 と 学 生 生 活 の て び き －

令和 5 年度入学者用

山形大学大学院理工学研究科（理学系）
博士前期課程 理学専攻

3. 修了要件

研究科に2年以上在学し、以下に定められた履修基準を満たし、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者を、課程を修了した者と認める。

3-1 履修基準

修了に必要な最低修得単位数は、必修科目 18 単位、選択科目 12 単位の合計 30 単位である。それぞれの科目の授業科目区分に課される必要単位数は下表のとおりである。

博士前期課程履修基準表

科 目 区 分		必 要 単 位 数
大学院共通教育科目（別表1）	基 盤 教 育 科 目 ※	2
	基 礎 専 門 科 目	2
理工学研究科（理学系）共通科目（別表2）	理 学 特 別 研 究 ※	8
	理 学 特 別 演 習 ※	8
分 野 横 断 科 目（別表3）		4
分 野 専 門 科 目（別表4）		6
修了に必要な単位の総計		30

※必修

3-2 学位論文審査基準

- (1) 研究テーマの妥当性：研究テーマは、新規性、進歩性、有用性、独創性、レビューとしての価値、のいずれかを持っていること。
- (2) 情報収集能力：研究分野の動向を十分に把握し、研究の位置づけが明確であること。
- (3) 問題分析能力：合理的なデータ分析や議論に基づいて考察し、適切な結論が導かれていること。
- (4) 研究遂行能力：十分な調査、実験、計算等がなされ、それらの結果が明確に示されていること。
- (5) 論文作成能力：論文の構成が適切で、記述が論理的であること。

3-3 最終試験審査基準

研究内容を明確に説明し、これに関連ある質問について口頭又は筆答によりの確に答えられること。

4. 学位の授与

理工学研究科博士前期課程（理学系）の修了要件を満たした者には、研究科委員会による審査を経て、修士（理学）の学位が授与される。

6. 早期修了について

特に優れた研究業績を上げた者の在学期間については、1年以上在学すれば足りるものとする。ただし、選択科目 12 単位以上を修得し、必修科目については 18 単位と同等な理学特別研究、理学特別演習、基盤教育科目（大学院共通科目）を修得しなければならない。課程修了の認定は、研究科委員会が行う。

7. 単位修得の特例

- (1) 本学学士課程から大学院博士前期課程に入学した者のうち、学士課程在学中に大学院授業科目の受講を許可され、単位を修得した場合は、履修登録の際に当該授業科目を登録することにより単位認定を受けることができる。
- (2) 他の大学院・研究科等において修得した単位は、協定に基づき、大学院共通教育科目または分野横断科目の単位認定を受けることができる。

8. 教育方法の特例

理工学研究科（理学系）では、社会人技術者、教育者、研究者等の受入にあたり、教育上、特に必要と認められる場合には、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置を実施している。

- (1) 授業は昼夜開講制とし、通常の授業等も履修できる。
- (2) 夜間は、平日の第 11・12 限（18:00～19:30）とし、休日は原則として、土曜日の第 1・2 限（8:50～10:20）～第 7・8 限（14:40～16:10）の間に行う。
- (3) 長期休業中に授業を受けることもできる。
- (4) 特例措置による履修を希望する者は、当該年度当初に、主指導教員の承認を得た上で、授業担当教員の許可を得るものとする。